



## キャリア教育センター通信

2015年8月

9/8(火)・15(火)・29(火)

平成27年度さいたまマッチングファンド事業

### 女性の知恵で読み取る／発信する講座

### 「さいたま 地域力×女性力ブック」をつくろう！

自分自身の目で社会を読み取り、自らのメッセージを発信したい女性のための講座です。今、情報があふれる社会に生きる私たちには、「大事なこと」「信頼できること」を読み取る力、そして、自分自身の「感じること」「考えること」を発信できるチカラが必要です。3回講座＋フォローアップで、体験しながら学びませんか。共感できる仲間との出会いもあるかもしれません。

※フォローアップでは参加者みんなで「さいたま 地域力×女性力ブック」をつくりま

す。完成品は、参加者の皆さんに差し上げるほか、市内の公共施設等に配架します。



イラスト：cocoaro

講師：熱田敬子氏（ゆる・ふえみカフェ）、駒形生子氏（ものかきオフィスびあんか工房）、大武美緒子氏（『Letters』編集・発行人）

日時：2015年 9/8（火）・15（火）・29（火） いずれも10：00～12：00

会場：パートナーシップさいたま（さいたま市シーノ大宮センタープラザ3階）

対象：男女共同参画の視点で情報発信することに興味あるさいたまの女性

※講座3回とフォローアップ（「さいたま 地域力×女性力ブック」の企画・記事作成）および「完成フォーラム」2016年3月8日（予定）に参加できること

参加費：無料 定員：20名 ※託児あり（要予約）

申込・問合せ：パートナーシップさいたままで受付。電話 048-642-8107

## 9/24(木)第3回「帝王切開ママの会」



「帝王切開ママの会」は、帝王切開を経験した女性のための小さな集まりです。育児や家事に追われる日々の中で心にかぶせた「フタ」を取って、素直な気持ちを話せる場所をご用意しました。帝王切開カウンセラーの細田恭子さんと一緒に「私のお産」を振り返って、すっきりしませんか。子連れ参加OKです。

講師：細田恭子さん（帝王切開カウンセラー/さいたまキャリア教育センター理事）

さいたま市出身。帝王切開で3姉妹を出産し、2000年にホームページ「くもといっしょに」を開設。ユーザー発の帝王切開情報の草分け的存在として知られ、現在までに約400にのぼる体験や情報を掲載する。10年以上にわたり、各地で「帝王切開ママの会」を開催している。2013年8月、初の書籍『ママのための帝王切開の本』（共著）がある。<http://withkumo.jimdo.com/>

日時：2015年9月24日（木）10：00～12：00

会場：WithYouさいたま準備室1（さいたま新都心）

参加費：1,000円 定員：3人

# ワークステーションさいたままでお待ちしています！

JR 北浦和駅東口に、さいたま市の就労支援施設「ワークステーションさいたま」があります。7月から2Fに子育て世代向けコーナーができました。現場を担う合同会社ままのえんさんのお手伝いで、私たちもセミナーや受付を担当させていただいています。オープンは平日9:00~17:00、子連れでご利用いただけます。「これから」を考え中の子育て女性に役立つ情報がいっぱいです。お気軽にお立ち寄りくださいね♪



## 9/14(月) ワークステーションさいたま2F「子育て世代再就職チャレンジコーナー」 セミナー「働き方」って？

「これから」を考える子育て女性のためのセミナーです。今回のテーマは、働き方。結婚前・出産前とは、時間の使い方や予定のたて方がぜんぜん違う今の私。それでもOKな働き方や職場ってどんなの？ 一緒に考えましょう。

講師：古川晶子（さいたまキャリア教育センター代表理事）

日時：2015年9月14日（月）10:00~12:00

場所：ワークステーションさいたま2F（北浦和インフォメーションセンター内）

参加費：無料

託児：10名（1歳~未就学児 無料）

予約・問合せ：子育て世代再就職チャレンジ事業受付係 電話 048-643-6140



## 理事コラム「我が子に負けることも楽しめるように」

▼いよいよ夏休みですね。私は小学校低学年を宇都宮、高学年を秋田で過ごしました。（父が転勤族でしたので。）夏休みで覚えているのは毎日友人と走り回って遊んでいたこと。仲良し4人組で習い事も遊びもずっと一緒でした。▼母になって迎える夏休みは、「給食の有難さ」を一番に感じました。「また、そうめん??」の声に「イヤなら食べなくていい!」と怒鳴ったことも数知れず(^;。暑いし、部屋は片付かないし、宿題は進まないし・・・▼子どもたちが中学生になったころから夏休みの様子が変わりました。あれ?誰もいない・・・。毎日お弁当を持って部活に行くので、いつもと変わらない毎日なのです。あんなに忙しかった夏休みが、ちょっと寂しい夏休みになっていきました。▼「今が一番たいへん」と思っている、家族の成長とともに“たいへん度”は変わります。親の手からは離れていくけれど、逆に見えない心配が増えていくのも事実。親が負ける時も必ず来るはず。その時に、負けたことさえ楽しめたらいいなと思うのです。一緒に戦ってきたからこそ、まだ何もできなかった時を知っているからこそ、その子の成長を感じることができるんですね。▼夏休みは子どもたちが心身ともに大きく成長するとき。どうぞ大切な成長を見逃さないでくださいね。いつか我が子に負ける 때가来たとき、あの夏、宿題が終わらなくて泣きべそをかいていた我が子の顔を思い浮かべられるように。（細田）

